



社会福祉法人大和善隣館
幼保連携型認定こども園
月津こども園

R7年10月号

残暑も少しづつ落ち着き、気持ちのよい秋晴れの下、園庭や散歩先で子どもたちはのびのびと身体を動かしています。汗の出るような気温の時もあれば、肌寒い日も出てきながら冬に向かっていきます。衣服の調整も必要ですね。また、しっかり食べて、たくさん遊んで、たっぷり眠る。規則正しい生活リズムの中で、寒さに向かう体力をつけていきましょう。



10月10日は目の愛護デー

10を横にすると、眉と目に見えるので、10月10日は【目の愛護デー】です。テレビにスマートフォン、タブレットなどは生活する上で切り離せなくっており、子どもも触れることが多くなっています。発達途上のこどもの目を守るために、目の健康について考えてみませんか。

明るい、暗いは
わかるよ



0.8 ぐらい
まで見える
よ

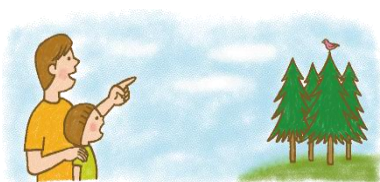


大人と同
じように
見えるよ



◎視力の発達

生まれたばかりの赤ちゃんは明るさを感じるぐらいしか見えていませんが、パパやママなどが顔を近づけると輪郭でわかります。成長とともに視力は急速に発達していき、1才で0.2程度、3歳で0.8～1.0程度、6～8歳で大人と同じまで発達をしていきます。



◎いろいろなものを見せてあげましょう

いろいろな距離のものを見ることを見る力を育てます。子どもに「遠くを見て」といってもうまくいかないので「あの木の上の鳥を見て」など具体的に声をかけてあげましょう。

成長するにつれてスマホやタブレット、テレビなどの視聴時間が長くなりがちです。しかし、無制限にそれらとつきあうことが、子どもの発達に悪影響を与えることが、わかってきました。特に「乳幼児」がテレビなどを長時間視聴することが、言語の発達や社会性の遅れにつながることを日本小児科学会から報告されています。



10/29(水)9:00～内科健診があります。



インフルエンザの予防接種が始まります

インフルエンザの予防接種が始まります。予防接種を受けると感染力の強いインフルエンザに感染しにくくなり、発病しても重症化するのを防ぎます。12才未満は間隔をあけて2回の接種が必要で、かつ接種を受けてから抗体ができるまでには約2週間かかるので、接種の予定されている方は早めの接種をお勧めします。

他にも接種出来る時期が来ている
予防接種がないか、母子手帳で確
認をしてみませんか。



子どもと大人 視野の大きさに違いがあります

前を向いた時の子どもの視野の大きさは、大人に比べ狭いです。そのため子どもは大人に比べ、物にぶつかりやすかったり転びやすかったりします。視野が狭いことから横からくる車がわかりにくく、事故につながってしまいがちなので大人が注意をしてあげることが大切です。

左右(水平)の場合



上下(垂直)の場合



食べ物による窒息事故を防ぐために

食事時の思わぬ事故に窒息があります。悲しい思いをしないためにも

- ・食べる機能の発達に合わせて、食品の柔らかさや大きさに気を付ける
- ・食事の際は、そばで見守る
- ・ゆっくりよく噛んで食べるように声をかける
- ・遊んだり、歩いたり、寝転んだ状態で食べない
- ・食事中に驚くようなことはしない

を気を付けていきましょう。

吸い込んでしまいやすいプチトマト、ミニカップゼリー、ぶどう、キャンディチーズ等は、誤嚥を防ぐために園の食事で使用していません。遠足のお弁当で使用をされる時には、半分に切るなどしていただき、楽しいお弁当の時間を過ごせるようご協力をよろしくお願いいたします。

